

第3回 医学用原子分子・原子核データ ワーキンググループ 議事録

1. 日 時 昭和58年1月28日 13時30分～17時
2. 場 所 日本原子力研究所本部第5会議室
3. 出席者 尾内能夫, 喜多尾憲助, 白貝彰宏, 平岡 武, 高田信久, 岩波 茂,
高橋 亘, 伊藤 彬, 杉山治男, 中井洋太, 浅見 明, 沼宮内弼雄
(欠席者: 龍福廣, 中島龍三)

4. 議 題

1) 議事録の確認

第2回ワーキンググループの議事録が原案どおり承認された。

2) 核反応に関するデータについて (浅見委員)

核反応, 特に中性子核データ及び荷電粒子核反応データについて整備されているデータの種類, 内容, 利用方法を配布資料にもとづいて説明があり, 質疑検討を行った。

3) 低エネルギー電子の阻止能について (中井委員)

低エネルギー (<10 keV) 電子の阻止能の重要性, 現在までに得られているデータ及び今後の問題点について配布資料にもとづき説明があり, 質疑検討を行った。

4) 阻止能の“Mixture Effect”について (電総研杉山氏)

阻止能の“Mixture Effect”の実験値, 計算値についてとその重要性につき配布資料にもとづき説明があり, 質疑, 検討を行った。

5) 今後の展望

今後検討すべきテーマとして, ① X線の線量測定の立場から必要とするデータ, ② Photonに対するBragg Rule ③水を電子との相互作用に関するcross section等を追加することとした。

次回は、I A E A岡本浩一氏から、I A E Aにおける活動状況と当グループに対する要望ならびに伊藤委員の“low energy electronの水中でのtrack simulation”の説明とを行うこととした。

以 上